



2024.4.5

No. 363

MONTHLY

れんごう

北海道

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 和田 英 浩

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

!!! みんなで賃上げ。↑ ステージを変えよう!

2024春季生活闘争 連合第2回集計(3/22発表)
中堅・中小組合含め高水準の回答続く!

【連合本部集計概要】3月21日(木) 17:00時点集計

○平均賃金方式で回答を引き出した1,446組合の定昇相当込み賃上げの加重平均は16,379円・5.25%(昨年同時期比4,825円増・1.49ポイント増)となった。第1回回答集計(16,469円・5.28%)とほぼ同水準を維持しており、比較可能な2013闘争以降で、額・率とも最も高い。賃上げ分が明確にわかる1,237組合の賃上げ分は、11,262円・3.64%(同4,668円増・1.39ポイント増)で、賃上げ分が明確にわかる組合の集計を開始した2015闘争以降、最も高くなった。

○1,446組合のうち、組合員300人未満の中小組合は777組合で、その定昇相当込み賃上げは11,916円・4.50%(同3,153円増・1.11ポイント増)となり、全体と同じく2013闘争以降最も高い。賃上げ分が明確に分かる中小組合607組合の賃上げ分は8,549円・3.15%(同3,076円増・1.09ポイント増)で、2015闘争以降で最も高い。

詳細は連合HPで



【連合北海道集計概要】3月22日(金) 17:00時点集計

○集計可能な回答を引き出した組合は43組合(昨年同時期比11組合増)24,252人。

○月例賃金の賃上げ状況は、加重平均妥結額(定昇・ベア込み)12,628円・4.64%(同3,390円増・1.27ポイント増)となり、300人未満の中小組合28組合では8,090円(同49円増)、300人以上の組合15組合では12,987円(同3,681円増)となった。

○ベースアップ分が明確にわかる組合は36組合あり、全体では8,519円(同3,994円増)、300人未満の組合では8,442円(同1,972円増)、300人以上では8,526円(同4,108円増)となっている。

連合北海道は、引き続き「人への投資」と月例賃金にこだわって、「みんなの賃上げ」につながるよう「闘争ニュース」などを発行し、産別・単組・地域との連携、意思統一をはかり、粘り強い交渉を支援していく。

連合北海道の取り組み日程

4月1～30日	中小回答ゾーン
4月16日(火)	公正取引委員会事務総局北海道事務所への要請行動 北海道経済産業局中小企業課への要請行動
4月19日(金)	渡島地協解決促進集会/亀田交流プラザ
4月22日(月)	石狩地協解決促進集会 /ホテルポールスター札幌
4月24日(水)	第3回中小・パート共闘会議
4月25日(木)	第4回闘争闘争委員会(執行委員会と併催) /ホテルポールスター札幌
4月26日(金)	第7回医療(看護師)職場の意見交換会 /センチュリーロイヤルホテル

最新の妥結状況は連合北海道HPで



春の闘い 総力上げて挑む 3.5全道総決起集会 開催

連合北海道は3月5日(火)、札幌市の共済ホールで「2024春季生活闘争勝利!!3.5全道総決起集会」を開催し、構成産別や地域協議会など組合員650名が参加した。

須間等会長は主催者挨拶で「2023春闘では30年ぶりに3%を超える大幅賃上げが実現したものの、都道府県別の実質賃金の増減率で北海道は36番目に低い水準」と物価上昇に賃上げが追いついていない状況を指摘した上で「2024春闘では、特に北海道で99%を占める中小企業での『労務費を含む価格転嫁』が行われるか否かが賃上げの成否を分ける」と広がる企業規模間格差の是正について強調した。



参加者で力強く団結がんばろう!

さらに、「すべての労使交渉において、自社の取引が適正に行われているのか、労働組合がチェック機能を果たしていくことが重要」と述べ、「大幅賃上げを一過性で終わらせることなく、継続して毎年賃金上がる環境をつくろう。私たちの力で社会を変えていこう」と集会参加者に力強く呼びかけた。



継続的な賃上げを訴える
須間等会長

その後、和田英浩事務局長から2024春季生活闘争の闘争方針が提起され、「まずは連合に加盟する16%の働く仲間が闘わなければ、それ以外の多くの働く者に賃上げを波及できないことを認識し、今次春闘への結集をお願いする」と3月12日からのヤマ場に向けて決意を述べた。

その後、運輸労連の後藤書記長、電機連合の片桐事務局長、十勝地協の齊藤事務局長から今次春闘への決意表明があり、最後は団結がんばろうで結束力を固め、集会を終えた。



3.5総決起集会の記事はこちら

春闘ヤマ場前に道内経済5団体と労使懇談会を開催

連合北海道は3月4日(月)、道内の経済5団体(北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、北海道経済同友会、北海道中小企業団体中央会)と札幌市内で労使懇談会を開催した。須間等会長から藤井裕道経連会長へ、今次春季生活闘争における要請書を手交し、賃金の引き上げや雇用の安定、ワークルールの遵守、ジェンダー平等・多様性の推進、治療と仕事の両立の推進などについて経済界の協力を求めた。

須間等会長は「2023春闘では30年ぶりの大幅賃金の引き上げが行われ、経済団体の皆さんが『人への投資』を行っていただいた結果であると受け止めているが、高騰を続ける物価に賃金が追いついていない状況にある」と述べ、「2024春闘では、すべての働く仲間が賃上げの効果を実感するためにも、特に北海道で大多数を占める中小企業が『労務費を含む価格転嫁』で賃上げ原資確保が行えるか否かが重要である。物価上昇に負けないために、昨年を上回る賃上げを目指す」と今次春闘の考え方を説明した。

その上で経済団体には「大手企業は能動的な価格転嫁の努力を行っていただきたい」と中小企業が価格交渉を行えるよう、会員企業への周知やアドバイス、「パートナーシッ



須間会長(右)から藤井裕道経連会長へ要請書手交

プ構築宣言」の推進など『取引の適正化』に向けた発信を求めた。

北海道経済連合会の藤井裕会長からは、「賃金と物価が適切に上昇することは重要であり、労使共に議論し、自社の実情に適した賃金引き上げ等の処遇改善は実施すべき」とした上で、「中小企業においては構造的に賃上げができる環境整備が不可欠であり、『生産性の向上』や『適正取引』『価格転嫁』を目指す取り組みが必要になって

くる」と述べ、労使が目指している社会像の認識が一致していることがうかがえた。

千葉浩司副会長(JP労組)は、「郵便業界においても、AIの発展や技術革新により郵便物数の減少が続き、足下の経営状況が厳しい中でも、『第一種定形郵便物』等の価格を据え置き続けてきた」と述べ、その影響については「経費削減が現場への過度な負担となっている」と人件費等の抑制により、賃金改善されない実態を説明した。その上で労働組合としては「適正な原価、適正な利潤を含む料金への見直しが必要と考え、会社や総務省に要請を

している」と働く者の負担による事業の維持の限界を訴え、適正な価格転嫁によってサプライチェーン全体で物価高に負けない賃上げを行うことが、産業全体で共通の認識となるよう、会員企業への呼びかけを要請した。



適正な価格転嫁への協力を要請する
千葉浩司副会長

3.8国際女性デー 全国統一北海道集会を開催

連合北海道では3月2日(土)に対面とウェブのハイブリッド形式で集会を開催し、11産別3地区132人が参加した。(連合は、「3.8国際女性デー」の取り組みを春季生活闘争の一環として位置づけ、全国統一行動を展開している。)

■主催者挨拶

河原崎育子連合北海道女性委員会委員長は、須間会長が出席した北海道政労使会議(2月7日)で「物価上昇に負けない賃上げに向けた環境整備の取り組み強化」共同宣言が採択されたことや、ジェンダー平等については、能登半島地震における避難所設営の際の多様性の重要さに触れ、生活必需品は性別、性自認、世代や人数等によりニーズに違いがあること、トイレの場所は犯罪が置きやすい場所でありジェンダーの視点が重要であることなどを例に、本日の講演をそれぞれの生活場面などに置き換えて想像しながら聞いてほしいと挨拶した。



主催者挨拶をする
河原崎育子女性委員会委員長

■基調講演

「みんなで学ぼう!SDGs~ジェンダー平等の実現に向けて~」
講師:SDGsファシリテーター
/北海道電力総連女性委員会委員長 対馬小百合さん



講演するSDGsファシリテーターの対馬小百合さん

SDGsの17の目標、特に目標5の「ジェンダー平等を実現しよう」について、「事実と数字」と題し世界のジェンダーの現状を様々なデータで紹介。日本のジェンダーギャップ指数が低いことは



周知の事実だが、とりわけ政治分野での女性割合がかなり低い理由として、家事や育児との両立が難しいだけでなく、通称(旧姓)の使用ができず手続きが煩雑であることや、男性議員からのハラスメントなどが指摘された。

SDGsは「2030年までに達成すべき」となっており、残り6年しかない。「みんなのあたりまえが平等になること」こそが目標達成の第一歩であることを参加者で共有した。

■産別報告



産別報告する
JAMの高橋さとみさん

JAM北海道の高橋さとみさんと、田中紀恵連合北海道女性委員会事務局長から産別活動報告がなされ、最後に菅原まどか女性委員会幹事のアピール採択で集会は終了した。

[3.8国際女性デー 北海道集会はこちら](#)



【お詫びと訂正】

2024年2月に発行した「MONTHLYれんごう北海道」号外の男女平等参画トップリダー宣言において、全自交鈴木委員長の宣言に誤植がございました。謹んでお詫び申し上げます。
(誤)女性の声を反省した (正)女性の声を反映した

能登半島沖地震 緊急支援カンパにご協力ありがとうございます

みなさまにご協力いただいた能登半島沖地震 緊急支援カンパは連合北海道での集約は**1,682,201円**となりました。集約したカンパ金は、連合本部を通じて被災各県に対して義援金として拠出させていただきます。ご協力に心よりお礼申し上げます。(連合本部の3月7日時点集約では185,431,538円が寄せられました。)



ワークルール検定2024春 全国で実施 6月8日(土)~16日(日)

受検日: 2024年6月8日(土)から6月16日(日)
試験区分: 初級検定 検定料 2,900円
 中級検定 検定料 4,900円
申込み期間: 3月4日(月)~4月26日(金)
受験会場: 全国で受検可能
(初級と中級の同時受検も可能)

公式テキストや
受検前講義など
詳しくはチラシを
ご覧ください。

チラシはこちら



連合・教育文化協会共催 第21回

「私の提言」募集



募集テーマ
働くことを軸とする安心社会-まもる・つなぐ・創り出す-の実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと
(オリジナルで未発表のものに限る)

応募締切 2024年7月22日(月)

表彰

優秀賞 1名 表彰盾と副賞 20万円	佳作賞 若干名 賞状と副賞 10万円	奨励賞 若干名 賞状と副賞 3万円	学生特別賞 1名 賞状と副賞 12万円 奨学金1万円×12ヶ月
---	---	--	---

☆応募者には、もれなく記念品を進呈(入賞者および審査対象外となった方を除く)。

☆発表 2024年9月20日(金)

応募資格

応募方法

どなたでも応募いただけます Webサイトの応募フォームから応募

応募・お問い合わせ先

公益社団法人 教育文化協会
E-mail info-ilec@sv.rengo-net.or.jp
電話 03-5295-5421



詳しくは



4月の主な動き

- 4月 9日(火) 連合第4回(拡大)組織委員会/連合会館
- 4月11日(木) 「第95回全道メーデー」第2回実行委員会/札幌ガーデンパレス
- 4月17日(水) 資源・化学・エネルギー部門別連絡会/連合北海道会議室
- 4月18日(木) 連合第7回中央執行委員会/連合会館
金属・機械部門別連絡会/苫小牧
判例研究会/かでの2・7
- 4月19日(金) 交通・運輸部門別連絡会/連合北海道会議室
- 4月23日(火) 情報・サービス部門別連絡会/連合北海道会議室
- 4月24日(水) 第3回中小パート共闘会議 及び 流通・食品・建設一般部門別連絡会合同会議/ポールスター札幌
- 4月25日(木) 第7回執行委員会・第4回闘争委員会 第6回地協事務局長会議/ポールスター札幌

イベントカレンダー

5月1日(水) 9:30
第95回全道メーデー
札幌大通西8丁目ひろば

